

2024年4月より
BCP 策定の義務化

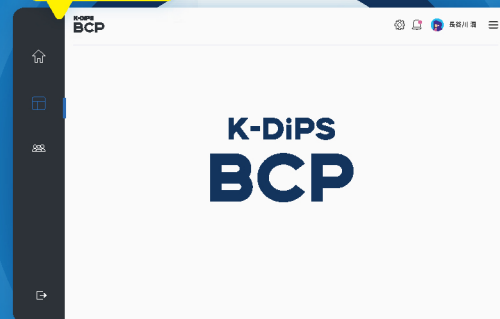
K-DiPS BCP

事業所の実情に合わせた迅速な BCP 策定

計画・対策・運用を一元管理

外部に任せず、
自分たちの力で守り抜く
方法を考えてみませんか。

24h
管理可能



機能一覧

- ・ BCP シート
- ・ スタッフリスト
- ・ 優先対象者リスト
- ・ SOS 受信
- ・ 安否確認
- ・ 連絡帳機能

\ 紙でもデータでもすぐにわかる /

誰に

何が

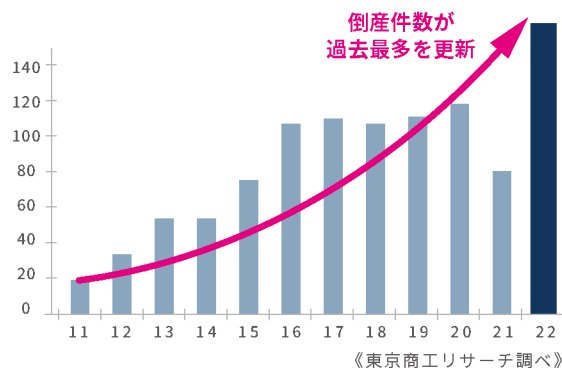
どのくらい

必要か

CASE.01

感染症編

2020年の新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、介護サービスの利用控えや人手不足が続き、経営不振による介護事業の倒産件数は過去最多を更新しました。



CASE.02

災害編

東日本大震災の発災により、電話などのインフラが停止する中で職員と利用者の安否確認リストの作成や情報収集に時間がかかり、事業再開に1週間またはそれ以上を要した事業者が多くありました。

介護リスクだけでなく職員が安心できる
方針や優先順位などの確立・共有が不可欠です。



K-DiPS BCP で何が変わる？



高知県立大学
看護学部 准教授

開発者 中井寿雄 先生

BCPの専門知識が不要

災害看護学の専門医が考案
非常時に取り残される人の出ない社会を目指し、災害看護学の先生自身が考案したシステムです。

低コストで BCP 運用

少額でも BCP を一元管理
高額な委託料などのコスト削減。
急な離職でも非常時に誰でも運用できる月額サービス。

BCP 策定の自動化

労力をかけずに BCP 策定
策定に必要な専門知識がなくても、誰でもかんたんに BCP 策定が可能です。

どこでも安否確認

利用者と繋がる仕組み
非常時にリモートで安否確認が可能。利用者に必要なケアまで瞬時にわかります。

潜在的なリスクの可視化

備品や人材の不足に備える
事業継続計画をおこなうために必要な職員数や優先的のケアが必要な利用者、備品などを管理。

紙でもデータでも

被害を最小限に抑える為に
紙とクラウドで保管。
オフライン / オンラインの両面で備えるから非常時でも安心。